

緑肥作物・景観作物一覧

※緑肥専用カタログもご用意しておりますので、最寄りの営業所へご用命ください。

緑肥作物として利用

パールミレット

品種

ネマレット[®](ADR300)

カタネグサレセンチュウ・サツマイモネコブセンチュウ抑制効果が高く、土壌を選ばず元気に育つ。ソルガムいや地発生圃場でも生育し、C/N比が低く柔らかい。



ソルガム

品種

グリーンソルゴー[®](スーパードン)

初期生育が旺盛。短期間での有機物生産量が多く、露地野菜の前作に適する(40〜50日で3〜5t/10a)。



エンバク

品種

スナイパー[®]

海外特出禁止
(農林水産大臣告示)

サツマイモネコブセンチュウ抑制効果が高い。生育が早く晩夏播きでの年内すき込みが可能のため、春先の農作業に余裕がもてる。耕畜連携にも利用される。



スーダングラス

品種

ねまへらそう[®](スーパードン2)

カタネグサレセンチュウ・サツマイモネコブセンチュウを抑える。出穂が遅く、長期利用が可能。飼料用途でも利用可能な品種。



ギニアグラス

品種

ソイルクリーン

各種ネコブセンチュウ抑制効果が高く、カタネグサレセンチュウ抑制効果も高い。従来のギニアグラスよりも初期生育が早く生育旺盛。



ライムギ

品種

R-007[®](ウィーラー)

秋播きでカタネグサレセンチュウを抑制する。品種ハイオーツが越冬できない積雪地帯や一般地での秋播き利用に適する。



ソルガム

品種

つちたろう[®](ジャンボ)

サツマイモネコブセンチュウ抑制効果が高い。初期生育が旺盛で出穂しにくいヘッドレスタイプ。長期利用で有機物生産量が多い。



アウエナ ストリゴサ(エンバク野生種)

品種

ハイオーツ

カタネグサレセンチュウ抑制効果が高い。ジャガイモそうか病やアブラナ科野菜の根こぶ病の発生も軽減する緑肥作物の定番品種。



カラシナ

品種

辛神[®]

海外特出禁止
(農林水産大臣告示)

辛味成分高含有品種で土壌にすき込むことにより各種土壌病害の発生を軽減する。葉が柔らかく、すき込み後の分解が早い。



クロタラリア

品種

ネマックス

各種センチュウに効果がある。夏場の地力増進作物に。



ハエリーバッチ

品種

寒太郎[®](サバン) / 藤えもん[®](マッサ) / まめ助[®](チモイ) / ハングビローサ

寒太郎は越冬性に優れる晩生品種。藤えもん・まめ助は生育旺盛な早生品種。雑草抑制効果が高く、マメ科のため地力増進にも役立つ。



セスバニア

品種

田助

耐湿性が高いマメ科緑肥で水田転換畑での生育が旺盛。直根性であるため、湿害のある圃場での排水性、通気性改善にも効果的。



緑肥作物の特性と播種期※1

種類 品種	播種量 (kg/10a)	主な効果 (有機物の供給以外の効果)			主な特性	播種期		
		線虫抑制	窒素固定	草生栽培		東北・高冷地	一般地	西南暖地
パールミレット ネマレット [®] (ADR300)	4.0	*			カタネグサレセンチュウ・サツマイモネコブセンチュウ抑制効果が高い	6月上旬~7月下旬(露地) 5月~7月(ハウス)	5月下旬~8月中旬(露地) 5月~8月(ハウス)	5月中旬~9月上旬(露地) 5月~8月(ハウス)
スーダングラス ねまへらそう [®] (ADR300)	5.0	*			根葉部の線虫対策に	5月下旬~7月下旬(露地) 5月~7月(ハウス)	5月中旬~8月上旬(露地) 5月~8月(ハウス)	5月上旬~8月中旬(露地) 5月~8月(ハウス)
ソルガム つちたろう [®] (ADR300)	5.0	*			サツマイモネコブセンチュウ抑制効果が高い	5月下旬~7月下旬(露地) 5月~7月(ハウス)	5月中旬~8月中旬(露地) 5月~8月(ハウス)	5月上旬~9月上旬(露地) 5月~8月(ハウス)
ソルガム グリーンソルゴー [®] (ADR300)	4.0~5.0				初葉生育が良好で、ハウス内の除害効果も高い	5月下旬~7月下旬(露地) 5月~7月(ハウス)	5月中旬~8月上旬(露地) 5月~8月(ハウス)	5月~8月(露地・ハウス)
ソルガム 短尺ソルゴー	4.0~5.0 1.0(条播)				防風・ドリフトガードに。 1.5~2.0m前後の程よい草丈。	5月下旬~7月下旬(露地) 5月~7月(ハウス)	5月中旬~8月上旬(露地) 5月~8月(ハウス)	5月~8月(露地・ハウス)
ギニアグラス ソイルクリーン	0.3~0.5(条播) 1.0~1.5(撒播)	*			サツマイモネコブセンチュウ、カタネグサレセンチュウの抑制効果が高い	6月下旬~7月上旬(露地) 5月~7月(ハウス)	6月上旬~8月上旬(露地) 5月~8月(ハウス)	5月中旬~8月中旬(露地) 5月~8月(ハウス)
アウエナ ストリゴサ(エンバク野生種) ハイオーツ	10.0~15.0	*			カタネグサレセンチュウ抑制効果が高い	4月上旬~6月上旬 8月中旬~9月上旬	3月~5月 8月下旬~9月中旬 10月中旬~11月上旬	2月下旬~5月上旬 8月下旬~9月下旬 10月下旬~11月下旬
エンバク スナイパー [®] PVP	8.0~10.0	*			サツマイモネコブセンチュウ抑制効果が高い	-	8月下旬~9月中旬	9月 9月下旬~10月上旬 (稲田・種子場など)
エンバク とちゆたか	8.0~10.0 3.0~5.0(撒播)				耐湿性に優れ、防風・雪むらなど圃場利用に。	4月上旬~6月上旬 8月中旬~9月上旬	3月~5月 8月下旬~9月中旬 10月中旬~11月上旬	2月下旬~5月上旬 8月下旬~9月下旬 10月下旬~11月下旬
ライムギ R-007 [®] (ウィーラー)	6.0~8.0 10.0~15.0(撒播)	*		*	秋播:カタネグサレセンチュウ対策 春播:雑草管理・土壌凍結防止に	3月下旬~5月上旬 9月上旬~10月中旬	2月下旬~4月下旬 9月下旬~12月上旬	1月下旬~3月下旬 10月~12月
カラシナ 辛神 [®] PVP	1.0				辛神には辛味成分が多く含まれており、土壌にすき込むことで土壌病害菌による被害(ホウレンソウ葉腐病など)の低減が期待できます。	4月~5月 8月下旬~9月上旬	3月~4月 10月中旬~11月上旬	2月~3月 10月下旬~11月中旬
セスバニア 田助	4.0(条播) 5.0(撒播)	*			耐湿性が強く、根発達の根肥として有効	6月中旬~7月中旬	5月下旬~7月下旬	5月上旬~8月中旬
オオナギナギサ ゾロ	2.0~3.0		*		春に自然に腐敗する自動マルチ効果により雑草を抑制する	9月	9月中旬~10月中旬	9月下旬~11月上旬
オオムギ らくらくムギ [®] (ADR300)	3.0~5.0(撒播) 8.0~10.0(条播)	*		*	春播をすることで、ほとんど出穂せず、コンニャクなどの間作利用が可能。	5月中旬~6月下旬 ^{※4}	4月上旬~6月中旬	3月下旬~5月中旬
クロタラリア ネマックス	6.0~9.0	*	*		各種線虫に効果が高い	7月(露地) 6月~7月(ハウス)	5月下旬~8月上旬	5月上旬~8月中旬 2月下旬~9月下旬 (沖縄・奄美・琉球)
クロタラリア ネマコロリ	6.0~8.0	*	*		サツマイモネコブセンチュウ抑制効果が高い	7月(露地) 6月~7月(ハウス)	5月中旬~8月上旬	5月上旬~8月中旬 2月下旬~9月下旬 (沖縄・奄美・琉球)
ハエリーバッチ ^{※5} 寒太郎 [®] (サバン)・藤えもん [®] (マッサ)・まめ助 [®] (チモイ)・ハングビローサ	3.0~5.0		*	*	水田・畑地の地力向上、遊休地の雑草対策に	4月上旬~5月上旬 8月中旬~9月上旬 9月上旬~10月中旬 ^{※6}	3月上旬~4月上旬 8月下旬~9月中旬 9月中旬~11月上旬	2月中旬~3月下旬 9月 9月下旬~11月下旬

※1 表中の播種期、開花時期は目安であり、天候や地域によって異なる場合があります。各地域の詳細な播種期、開花時期については、最寄りの営業所にお問い合わせください。
※2 海外特出禁止(農林水産大臣告示)
※3 近くにアブラナ科がある場合は、他草種をお使いください。
※4 気象条件により枯れあがらない場合があります。
※5 牛が生食で摂取すると、中毒を起こすこともあります。放牧などにはご注意ください。
※6 地力増進する場合には、畝元等に撒く「寒太郎」、「藤えもん」、「まめ助」、「ハングビローサ」をおすすめします。
※7 商品名と品種が異なる品目は、品種名を()書きで記載しております。

緑肥作物・景観作物一覧

※緑肥専用カタログもご用意しておりますので、最寄りの営業所へご用命ください。

花を咲かせる緑肥作物は景観緑肥作物とも称され、それらを栽培することで土づくりと景観形成を同時に行うことができます。地域おこしや遊休地の景観美化のためにご活用ください。



景観用としても利用できる緑肥作物

ベルシアンクローバ
品種
まめ小町 (Mame-Komachi)

ダイズシストセンチュウ抑制効果が高く、耐湿性が比較的高い。ピンク色の可憐な花を咲かせ、あたり一面が良い香りに。開花期が長く、蜜源利用にも適する。



ソバ
品種
レンゲ

水田の地力増進と窒素の減肥が可能。春に綺麗なピンク色の花が咲き、景観緑肥としても楽しめる。



主に景観として利用

スノーマックスフラワー花壇用

多種類の草花をミックスしたブレンド種子。粗放な栽培管理条件で美しい花を咲かせ、長期間いろいろな花を楽しむことができる。



コスモス
センセーションミックス

秋に綺麗なミックス色のコスモス畑を作り出す。初期生育が早く、丈夫で栽培しやすい。



マリーゴールド
アフリカントール
(品種クラッカージャックダブルミックス)

景観美化のほか、各種線虫抑制効果がある。※栽培日数80日前後が必要です。



クロタラリア
品種
ネマコロリ

クロタラリア属の中では初期生育が早く、サツマイモネコブセンチュウ抑制効果が高い。マメ科のため地力増進効果も期待できる。



ヒマワリ
サンマリノ 品種
(NSデュカット)

草丈が低く150cm前後。従来の景観用ヒマワリに比べ開花が早く、5月播きでは播種後50〜60日程度で開花する。



シロガラシ
キカラシ 品種
(メテックス)

初期生育が旺盛なアブラナ科緑肥。黄色の花を一面に咲かせ、景観緑肥にも適する。春播きでは播種後50〜60日程度で開花する。



ハゼリソウ
品種
アンジェリア

初期生育が旺盛で紫色の花を一面に咲かせる。地表の被覆が早いので、防砂・土壌流出対策・雑草抑制効果も期待できる。



景観作物として利用する場合の播種期と開花期※1

種類 (草種) 品種	草丈 (cm)	播種量 (kg/10a)	東北・高冷地		一般地		西南暖地	
			播種期	開花始期	播種期	開花始期	播種期	開花始期
スノーマックスフラワー花壇用・1d&入り	50〜90	20袋	春秋 —	7月中旬〜8月下旬 —	3月下旬〜6月下旬 9月上旬〜10月中旬	5月下旬〜8月下旬 4月中旬〜10月中旬	3月下旬〜6月下旬 9月上旬〜10月中旬	5月中旬〜7月上旬 4月中旬〜10月下旬
コスモス センセーションミックス	80〜120	2.0kg (4L)	春 5月上旬〜7月中旬	7月上旬〜8月中旬	4月中旬〜7月中旬	6月中旬〜9月中旬	4月中旬〜7月中旬	6月中旬〜9月中旬
マリーゴールド アフリカントール (品種クラッカージャックダブルミックス)	80〜100	1〜2L (0.2〜0.5kg)	春 6月	8月中旬〜9月上旬	5月下旬〜7月上旬	8月上旬〜9月中旬	5月上旬〜7月中旬	7月中旬〜9月下旬
ベルシアンクローバ まめ小町 (品種Mame-Komachi)	30〜80	2.0〜3.0	春秋 4月上旬〜5月上旬 9月上旬〜10月上旬 ^{※2}	6月上旬〜7月上旬 5月中旬〜6月上旬	3月上旬〜4月上旬 9月中旬〜10月中旬	5月中旬〜6月上旬 4月中旬〜4月下旬	2月下旬〜3月下旬 9月下旬〜10月下旬	5月 4月
クリムソクローバ くれない	30〜60	2.0〜3.0	春秋 4月上旬〜5月上旬 9月上旬〜10月上旬 ^{※2}	6月上旬〜7月上旬 5月中旬〜6月上旬	3月上旬〜4月上旬 9月中旬〜10月中旬	5月中旬〜6月上旬 4月中旬〜4月下旬	2月下旬〜3月下旬 9月下旬〜10月下旬	5月 4月
ヘアリーベッチ ^{※3} 藤えもん (品種マッサ) まめ助 (品種ナモイ)	30〜50 (自然草高)	3.0〜5.0	春秋 4月上旬〜5月上旬 —	6月上旬〜7月中旬 —	3月上旬〜4月上旬 9月中旬〜11月上旬	5月上旬〜6月上旬 4月中旬〜4月下旬	2月中旬〜3月下旬 9月下旬〜11月下旬	4月中旬〜5月下旬 4月
ヘアリーベッチ ^{※3} 寒太郎 (品種サバン)	30〜50 (自然草高)	3.0〜5.0	春秋 4月上旬〜5月上旬 9月上旬〜10月中旬	6月中旬〜7月上旬 5月下旬〜6月中旬	3月上旬〜4月上旬 9月中旬〜11月上旬	5月中旬〜6月上旬 5月	2月中旬〜3月下旬 9月下旬〜11月下旬	5月中旬〜6月中旬 5月
レンゲ	30〜50	3.0〜4.0	秋 8月中旬〜9月上旬 ^{※2} (東北南部)	4月下旬〜5月中旬 (東北南部)	9月上旬〜10月上旬	4月上旬〜4月中旬	9月中旬〜10月下旬	3月下旬〜4月上旬
ソバ マンカン	60〜80	3.0〜4.0	春秋 5月中旬〜8月中旬 —	6月下旬〜9月下旬 —	5月上旬〜8月中旬 —	6月中旬〜9月下旬 —	4月上旬〜5月上旬 8月下旬〜9月中旬	5月中旬〜6月中旬 10月
クロタラリア ネマコロリ	120〜160	6.0〜8.0	夏 6月〜7月 (ハウス) 7月 (露地)	7月下旬〜9月中旬 9月上旬〜9月下旬	5月中旬〜8月上旬 —	7月中旬〜9月中旬 —	5月上旬〜8月中旬 2月下旬〜9月下旬 (沖縄・奄美諸島は、 播種2ヵ月前後)	7月上旬〜10月上旬 沖縄・奄美諸島は、 播種2ヵ月前後
ヒマワリ サンマリノ (品種NSデュカット)	160〜190	1.5〜2.0	夏 5月中旬〜8月上旬	7月中旬〜10月上旬	5月上旬〜9月上旬	7月上旬〜11月上旬	4月中旬〜9月中旬	6月中旬〜11月中旬
シロガラシ キカラシ (品種メテックス)	80〜120	2.0〜3.0	春秋 4月上旬〜5月中旬 —	6月上旬〜7月中旬 —	3月 11月中旬〜12月上旬	5月 4月中旬	2月下旬〜3月中旬 11月下旬〜12月中旬	4月下旬〜5月中旬 3月下旬
ハゼリソウ アンジェリア	60〜80	2.0〜3.0	春秋 4月上旬〜5月中旬 —	6月上旬〜7月中旬 —	3月〜4月 11月	5月〜6月 4月下旬〜5月中旬	2月下旬〜3月中旬 11月下旬〜12月中旬	4月下旬〜5月中旬 4月上旬〜4月中旬

※1 表中の播種期、開花始期は目安であり、天候や地域によって異なる場合があります。各地域の詳細な播種期、開花始期については、最寄りの営業所にお問い合わせください。
※2 冬期の気象条件によって播種割合が異なります。(多量地帯では越冬不可)
※3 寒さが生で摂取すると、中街を記すこともあります。放牧などにはご注意ください。
※4 商品名と品種名が異なる品目は、品種名を()書きで記載しております。

トウモロコシの病虫害

トウモロコシ苗立枯病、ツマジロクサヨトウについては P19 をご覧ください。

タマナヤガ(ネキリムシ)

幼根の根元を食害する。



●ダイアジノン粒剤5を散布する。
●畝間周囲のイネ科雑草を除草する。

防除法

ハリガネムシ

生堆肥施用後に大量発生する場合がある。



●生堆肥利用を避ける。
●フルーザー FS30 を種子に塗沫処理する。

防除法

ごま葉枯病

温暖多湿で発生し、斑点が生じる。



●適正栽植本数を守り、密植を避ける。
●耐性品種を利用する。

防除法

すず紋病

高湿度低温で多発し雲形の斑点が生じる。



●適正栽植本数を守り、密植を避ける。
●耐性品種を利用する。
●適期播種に努めるとともに、発生が認められた場合は早めに刈り取る。

防除法

根腐病

糊～黄熟期に枯上り、雌穂が垂れ下がる。



●排水不良、未熟堆肥多投で発生しやすい。
●耐性品種を利用する。

防除法

黒穂病

連作で発生しやすく、稈や雌穂に発生する。



●多発した場合、3年以上の輪作。
●罹病体を出るだけ畑に残さない。

防除法

さび病・南方さび病

葉、葉鞘に赤褐色の小点（さび）が生じる。



●罹病後の収量低下が甚だしいため、耐病性品種を利用する。

防除法

トウモロコシの生育障害

湿害症状

多雨の影響で湿害が生じた場合は速やかに追肥を行う。



低温障害

発芽後に低温に遭遇すると葉にアントシアンが生じ、紫色を呈するが、一時的な症状で直ちに回復する。



ソルガムの病害

条斑細菌病

葉、葉鞘、稈及び子実に発生する。葉では幅数ミリの赤褐色すじ状に病斑が葉の葉脈にそって現れる。スーダン型ソルガムやスーダングラスで発生しやすい。



スーダン型ソルガムやスーダングラス以外の品種が、耐病性のスーダングラス「リッチスーダン」「品種ロールスイートBMR」を利用する。種子消毒を行う。

防除法

すず紋病

葉に鉛色の紡錐形病斑が現れる。その後進行すると細長い紡錐形又はレンズ形になる。スーダングラスで発生しやすい。



発生した圃場への連作を避ける。肥料切れにならないように十分に施肥する。スーダングラス以外の品種が、耐病性のスーダングラス「リッチスーダン」「品種ロールスイートBMR」を利用する。

防除法

紫斑点病

葉、葉鞘、稈及び穂に発生する。初め紫褐色又は褐色の微小点で、これが直ちに密度を増して斑点状になる。



刈り遅れないように注意する。耐病性品種「品種短尺ソルゴー」「リッチスーダン」「品種ロールスイートBMR」を利用する。

防除法

トウモロコシ畑・牧草地に発生する雑草

雑草初期写真：浅井元朗

イチビ

ゲザンゴールドの土壌処理が有効。遅れて発生したものはシャドー水和剤、バサグラン液剤、アルファード液剤、ブルーシアフロアブルの茎葉処理で防除。



防除法

ヨウシュチョウセンアサガオ

ゲザンゴールドの土壌処理が有効。遅れて発生したものはバサグラン液剤の茎葉処理で防除。



防除法

ショクヨウガヤツリ(キハマスゲ)

シャドー水和剤での茎葉処理で防除できる。



防除法

ワルナスビ

土壌処理や茎葉処理での防除が困難でトウモロコシ収穫後の再生株にラウンドアップマックスロードを茎葉散布※すると翌年の発生をある程度抑えられる。



防除法

ワルナスビ退治のワンポイントアドバイス!

ワルナスビは地下茎と種子で増殖し、除草剤による防除が難しい難除雑草です。防除法としては、①ワルナスビの茎葉展開時にラウンドアップマックスロードを散布し生育を抑制する。②スーダングラスや青葉ミレットなど夏作の長大作物を散播で栽培し日光を遮断し生育させない。③エンバクの晩夏播きや秋播き栽培で秋の生育や春の萌芽を抑制する。④エンバクの根を弱らせ枯死させましよう。⑤圃場の周辺部に繁茂するワルナスビには、高濃度のラウンドアップマックスロード散布や、刈り払いを行い種子による飛散・増殖を防止してください。

セイヨウヒルガオ

土壌処理や茎葉処理での防除が困難でトウモロコシ収穫後の再生株にラウンドアップマックスロードを茎葉散布※すると翌年の発生をある程度抑えられる。



防除法

オオオナモミ

ゲザンゴールドの土壌処理が有効。遅れて発生したものはバサグラン液剤、アルファード液剤、ブルーシアフロアブルの茎葉処理で防除。



防除法

アレチウリ

ゲザンゴールドの土壌処理が有効。遅れて発生したものはバサグラン液剤またはワンホーブル剤、アルファード液剤の茎葉処理で防除。



防除法

アメリカヌハウズキ

ゲザンゴールドの土壌処理で抑制できるが、遅れて発生した株にはアルファード液剤やブルーシアフロアブルの茎葉処理を行う。



防除法

ガガイモ

トウモロコシ収穫後の再生株にラウンドアップマックスロードを茎葉散布※すると翌年の発生をある程度抑えられる。



防除法

ジョンソングラス

ワンホーブル剤の茎葉処理（3～5葉期まで）が有効。生育が進むと効果がない。トウモロコシ収穫後の再生株にラウンドアップマックスロードを茎葉散布※すると翌年の発生をある程度抑えられる。



防除法

ギシギシ

ギシギシの葉の展開時期にハーモニーDFを散布して駆除する。または、草地更新時にラウンドアップマックスロードを散布し駆除する。



防除法

シバムギ

地下茎で繁殖する強害雑草。ラウンドアップマックスロードを散布し駆除する。



防除法

オオブタクサ

種子で繁殖する強害雑草。生育初期にバサグラン液剤、アルファード液剤、ブルーシアフロアブルを散布し駆除する。



防除法

※ラウンドアップマックスロードの適用情報をご確認の上、ご使用ください。

農薬・除草剤

農薬・除草剤

82

83

トウモロコシの畑に発生する強害雑草と有効な除草剤

雑草名	除草剤	処理方法			効果※2
		土壌処理	茎葉処理	収穫後の※1 茎葉処理	
イチビ	ゲザノンゴールド	☆			○
	アルファード液剤、シャドー水和剤、 バサグラン液剤、ブルーシアフロアブル		☆		◎
ヨウシュチョウセンアサガオ	ゲザノンゴールド	☆			○
	バサグラン液剤		☆		◎
ショクヨウガヤツリ	シャドー水和剤		☆		◎
	ゲザノンゴールド	☆			○
ハリビユ	アルファード液剤、バサグラン液剤、 ブルーシアフロアブル		☆		◎
	ラウンドアップマックスロード			☆	●
ウルナスビ	ラウンドアップマックスロード			☆	●
ヒルガオ類	ラウンドアップマックスロード			☆	●
オオオナモミ	ゲザノンゴールド	☆			○
	アルファード液剤、バサグラン液剤、 ブルーシアフロアブル		☆		◎
アレチウリ	ゲザノンゴールド	☆			○
	アルファード液剤、バサグラン液剤、 ワンホープ乳剤		☆		◎
マルバナルコウ	ゲザノンゴールド	☆			○
	バサグラン液剤		☆		◎
イヌホオズキ、 アメリカイヌホオズキ	ゲザノンゴールド	☆			△
	アルファード液剤、ブルーシアフロアブル		☆		◎
ガガイモ	ラウンドアップマックスロード			☆	●
	ラウンドアップマックスロード			☆	●
ジョンソングラス	ワンホープ乳剤		☆		△
	ラウンドアップマックスロード			☆	●
メヒシバ、ヒエなどの イネ科雑草	ゲザノンゴールド	☆			◎
	エコトップP乳剤、モーティブ乳剤、ラッソー乳剤	☆			◎
	アルファード液剤、ブルーシアフロアブル、 ワンホープ乳剤		☆		◎
	ゲザプリムフロアブル	☆	☆		◎
イヌビユ、シロザ、タデ、 ツユクサなどの広葉雑草	エコトップP乳剤、ゲザノンゴールド、 モーティブ乳剤	☆			◎
	バサグラン液剤、ブルーシアフロアブル、 ワンホープ乳剤		☆		◎
	アルファード液剤		☆		◎
					ツユクサには効果が劣る

※1：ラウンドアップマックスロードの適用情報をご確認の上、ご使用ください。
※2：◎枯殺が期待できる。 ○生育抑制が期待できる。 ●地下部減少が期待できる。 △侵入初期には効果があるが、蔓延後は効果が低い。 ☆登録あり

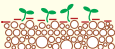
除草剤をピンシャツと効かせるコツ！

その1 砕土して
均平な畑作りがポイント

除草剤(土壌処理剤)の効果を発揮させるポイントは、
砕土と播種後の鎮圧を行い、
土壌の薬剤処理層を均一にすることです。
薬剤処理層が均一でないとその隙間から雑草が芽を出します。



土を細かく、均一にする 것과雑草の薬剤処理層も
均一になる
⇒除草剤の効果が発露される!



土壌表面が不均一(砕土不足・鎮圧不足)
だと薬剤処理層も不均一になる
⇒除草剤の効果が発露されない
雑草がたくさん発生しやす!

その2 除草剤の
薬量を守りましょう!

除草剤は10a当りに散布する薬量を守ることが大切です。
散布する際は製品の記載事項を
確認しましょう。



その3 除草剤の
混用使用に注意!

除草剤の種類によっては混用使用すると
薬害を起こすことがあります。
生育抑制や条件によっては枯死など、
飼料作物の生産に影響を及ぼす場合が
ありますのでご注意ください。



除草剤の混用により
薬害がでた
デントコーン

除草剤

適用 農作物	除草剤	製品規格	適用雑草	使用時期	適用土壌	使用量(ノ10a)	希釈水量(ノ10a)	処理方法		有効成分と総使用回数
								使用時期	使用方法	
飼料用(とうもろこし)	ラッソー乳剤	500ml	一年生雑草	は播種後出芽前	全土壌	300~600ml	100ℓ		全面土壌散布	アラクロール(1回)
	デュアルゴールド	250ml	一年生イネ科雑草 (イネ科雑草2葉期まで)	本葉1~2葉期 (イネ科雑草2葉期まで)		70~100ml	70~100ℓ		全面土壌散布	メトラクロール及び メトラクロール(1回)
	ゲザプリムフロアブル	1ℓ	一年生雑草	は播種後〜とうもろこし 2~4葉期まで	砂土を除く全土壌	100~200ml	50~100ℓ		全面土壌散布及び 雑草茎葉散布	アトラジン(1回)
	ゲザノンゴールド	1ℓ	一年生雑草	マルチ前・は播前 (雑草発生前)			70~150ℓ		全面土壌散布	アトラジン(1回)、 メトラクロール 及びメトラクロール(1回)
	ラクサー乳剤	500ml	一年生雑草	は播種後出芽前 (雑草発生前)			100ℓ		全面土壌散布	アラクロール(1回)、 リニウロン(1回)
	エコトップP乳剤	500ml	一年生雑草	は播種後出芽前 (雑草発生前)	全土壌(砂土を除く)	400~600ml	100ℓ		全面土壌散布	ジメタナミド及び ジメタナミドP(1回)、 リニウロン(1回)
	モーティブ乳剤	500ml	一年生雑草	は播種後〜 とうもろこし2葉期 (イネ科雑草2葉期まで)		200~400ml	100~150ℓ		全面土壌散布	ジメタナミド及び ジメタナミドP(1回)、 ベンディメタリン(1回)
	ゴーゴーサン乳剤	500ml	一年生雑草	は播種後出芽前 (雑草発生前)		200~400ml	70~150ℓ		全面土壌散布	ベンディメタリン(1回)
	フィールドスターP乳剤	500ml	一年生雑草 (アザミ、アブラナ科、 タデ科を除く)	は播種後出芽前 (雑草発生前)		75~120ml	70~150ℓ		全面土壌散布	ジメタナミド及び ジメタナミドP(1回)
	シャドー水和剤	100g	一年生イネ科雑草	とうもろこし出芽前〜2葉期 (イネ科雑草2葉期まで)			100ℓ			
			一年生及び多年生 広葉雑草2~5葉期 (とうもろこし3~5葉期)	一年生及び多年生 広葉雑草2~5葉期 (とうもろこし3~5葉期)		50~75g	100ℓ		雑草茎葉散布 又は全面散布	ハロスフロロメチル (1回)
	バサグラン液剤	500ml	キクイモ	キクイモ生育期 (とうもろこし5葉期)						
			一年生雑草 (イネ科を除く)	生草期 但し収穫50日前まで		100~150ml	70~100ℓ		雑草茎葉散布 又は全面散布	ペンタゾン(1回)
	アルファード液剤	500ml 3ℓ	一年生雑草	とうもろこし3~7葉期、 但し、収穫45日前まで		100~150ml	100~150ℓ		雑草茎葉散布 又は全面散布	トブラメゾン(1回)
			一年生雑草	とうもろこし3~5葉期、 但し、収穫45日前まで		40~50ml	通常散布50~100ℓ 少量散布25~50ℓ		雑草茎葉散布 又は全面散布	トルビラレート(1回)
	ブルーシアフロアブル	500ml	一年生雑草	とうもろこし6~7葉期、 但し、収穫45日前まで		50~75ml	100~150ℓ		雑草茎葉散布 又は全面散布	トルビラレート(1回)
			一年生雑草、 多年生イネ科雑草	とうもろこし3~5葉期、 但し、収穫30日前まで		100~150ml	70~100ℓ		雑草茎葉散布 又は全面散布	ニコスフロロ(1回)
	ハーモニーフ	10g	ギンギン類	耕起7日前まで (雑草生育期)		2~4g	通常散布50~100ℓ 少量散布25~50ℓ		雑草茎葉散布 又は全面散布	チフェンスフロロメチル (1回)
			飼料用とうもろこし 2~4葉期 (雑草生育期)	飼料用とうもろこし 出芽前まで (雑草生育期)		2g	通常散布50~100ℓ 少量散布25~50ℓ		雑草茎葉散布 又は全面散布	グリホサート(2回以内)
ソルガム	ゲザプリムフロアブル	1ℓ	一年生広葉雑草	は播種後雑草発生前〜始期 (雑草発生前)	砂土を除く全土壌	100~200ml	100ℓ		全面土壌散布及び 雑草茎葉散布	アトラジン(1回)
	ゴーゴーサン乳剤	500ml	一年生雑草	は播種後出芽前 (雑草発生前)		300ml	70~100ℓ		全面土壌散布 又は全面土壌散布	ベンディメタリン(1回)
	バサグラン液剤	500ml	一年生雑草 (イネ科を除く)	生草期 但し収穫30日前まで		100~150ml	70~100ℓ		雑草茎葉散布 又は全面散布	ペンタゾン(1回)
	ラウンドアップ マックスロード	500ml 1ℓ 5.5ℓ	一年生雑草	耕起前またはは播前まで		200~500ml	通常散布50~100ℓ 少量散布25~50ℓ		雑草茎葉散布	グリホサート(2回以内)
牧草	バンベルD液剤	1ℓ	ギンギン類	秋期最終刈取後30日以内		75~100ml	100ℓ		雑草茎葉散布	MDBA(1回)
	ハーモニーフ	10g	ギンギン類	採草21日前まで (雑草生育期)		3~5g	通常散布50~100ℓ 少量散布10~50ℓ		雑草茎葉散布 又は全面散布	チフェンスフロロメチル (1回)
			ギンギン類	採草21日前まで (雑草生育期)		3~5g	通常散布50~100ℓ 少量散布10~50ℓ		雑草茎葉散布 又は全面散布	チフェンスフロロメチル (1回)
	アージラン液剤	500ml	ギンギン類及び キコ科雑草	秋〜春期(9~5月) 但し、採草14日前まで		400~600ml	80~100ℓ		雑草茎葉散布 又は全面散布	アシュラム(1回)
ソルガム	ラウンドアップ マックスロード	500ml 1ℓ 5.5ℓ	一年生及び 多年生雑草	耕起前まで(雑草生育期)		200~500ml	少量散布25~50ℓ 少量散布5~50ℓ		雑草茎葉散布	グリホサート(3回以内)
			多年生イネ科雑草	最終刈取後・雑草生育期		500~1,000ml	50~100ℓ		雑草茎葉散布	

殺虫剤・忌避剤

適用 農作物	薬剤名	製品規格	適用病害虫・害獣名	使用量	処理方法		有効成分と総使用回数
					使用時期	使用方法	
飼料用(とうもろこし)	デルフィン顆粒水和剤	500g	ツマジロコサコトウ	500倍、100~300ℓ/10a	発生初期但し、収穫前日まで	散布	BT(一)
	ジャックポット顆粒水和剤	100g、500g	ツマジロコサコトウ	500倍~1,000倍、100~300ℓ/10a	発生初期但し、収穫前日まで	散布	BT(一)
	バダンスG水溶剤	100g、500g	アワ・メイガ	1,000倍、100~300ℓ/10a	収穫21日前まで	散布	カルダツツ(2回以内)
			ツマジロコサコトウ	1,000~1,500倍、100~300ℓ/10a	収穫21日前まで	散布	カルダツツ(2回以内)
	ダイアジノン粒剤5	3kg	タマナガ	6kg/10a	収穫60日前まで※	散布	ダイアジノン(2回以内)
	クルーザーFS30	250ml	ハリガネムシ類、タネバエ	乾燥種子1kg当り原液6ml	は播前	塗抹処理	チアマトキサム(1回)
	キヒゲン	100g、500g	カラス、キジ、ハト	乾燥種子重量の1%	は播前	種子粉衣	本剤1回、 チウラム(2回以内)
	キヒゲンR-2 フロアブル	50ml、 200ml、 1ℓ	苗立結実、カラス、キジ、ハト、キジバト、ムクドリ、スズメ	乾燥種子1kg当り原液20ml	は播前	塗抹処理	本剤1回、 チウラム(2回以内)
			カラス、キジ、ハト、キジバト、ムクドリ、スズメ				

※：例年、害が発生している場合は播種後1ヵ月以内の散布をすすめします。
(注1) 農業に当たっては、適用作物、使用時期、使用濃度、使用量等を遵守するとともに、農業容器のラベルに記載された事項等を十分に読み、
農業安全使用基準に沿って、安全かつ適正に使用してください。
(注2) 使用に当たっては、農業改良普及センター等の指導機関にご相談ください。
(注3) 本表は2023年8月現在の農業登録により作成しました。

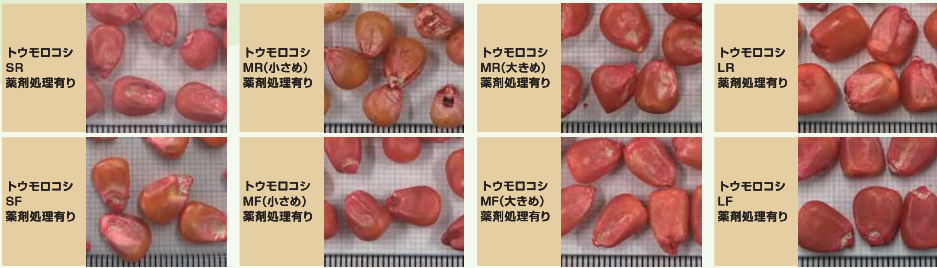
種子の形状

飼料作物・牧草・緑肥等で使用される種子の写真です。
種子の大きさは、種類(草種)、品種によっても異なります。
また、同じ品種でも採種地の栽培条件、天候により、大きく変動する場合があります。
品種によって、薬剤を粉衣しているものと、粉衣していないものがあります。
品種・生産地・年産・ロットによって、薬剤の種類が異なる場合があります。

(方眼・目盛りは各1mm)

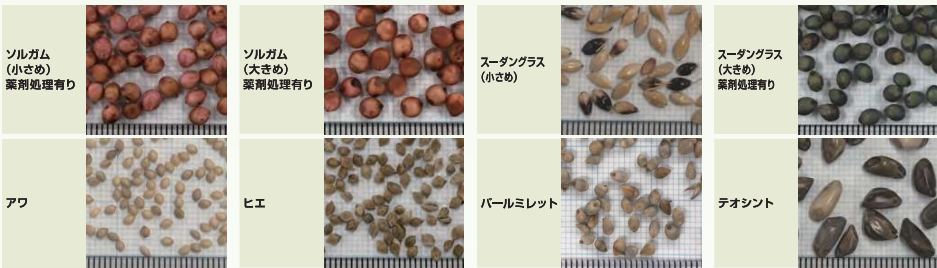
トウモロコシ

トウモロコシ種子は、同じ品種でもいろいろなサイズがあります。
トウモロコシ種子のサイズ:Sサイズは約4,000粒/kg以上、Mサイズは約3,000~4,000粒/kg、Lサイズは約3,000粒/kg未満
トウモロコシ種子の形状:Rは丸種子、Fは平たい種子。 ※ロットによって、丸種子、平たい種子が混在する場合があります。



ソルガム・スーダングラス、他青刈作物

ソルガム・スーダングラスは、品種によって、種子の大きさが大きく異なります。



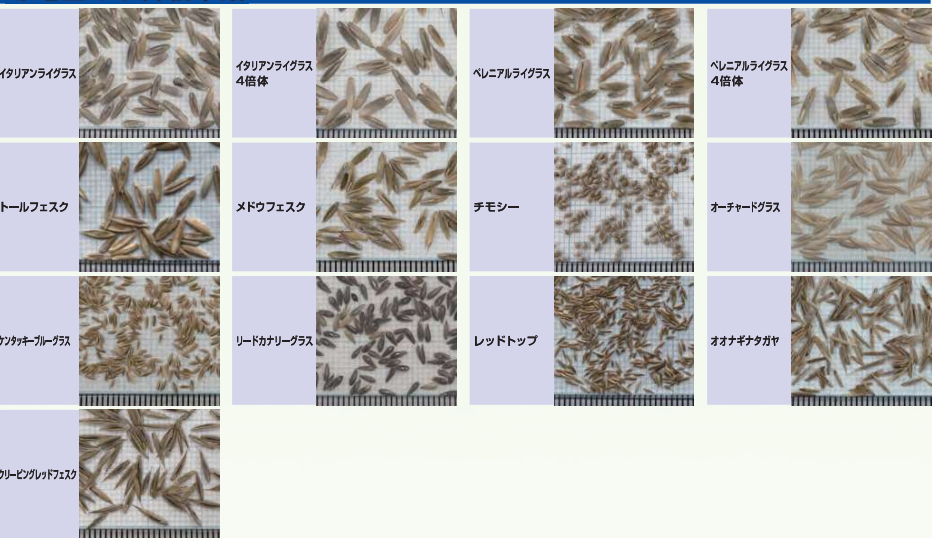
暖地型牧草類



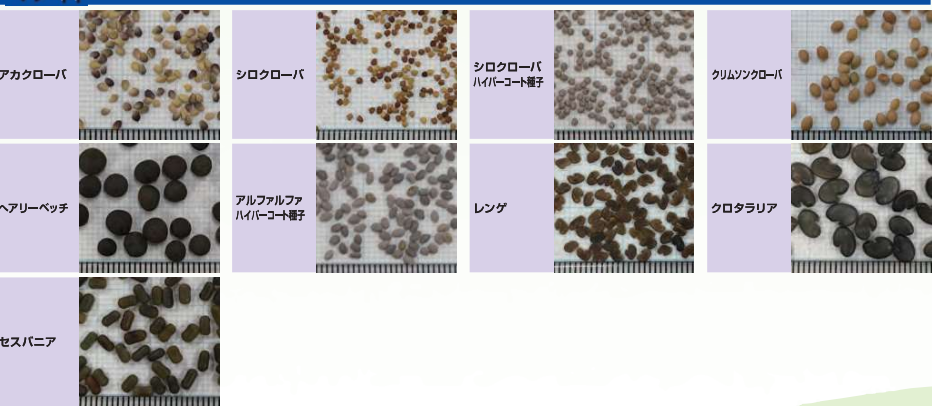
ムギ類



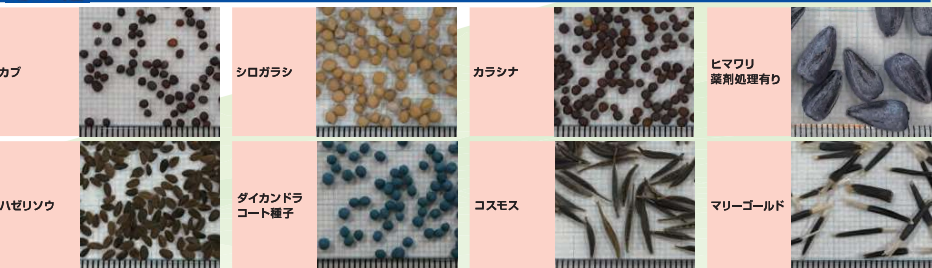
寒地型イネ科牧草類



マメ科



その他



その他

その他

品種特性一覧表

種類 (草種)	品 種 商品名がつけられている品目は、品種名を ()書きで記載しています。	海外 持出禁止 ※	主な特性	掲載 ページ	利用法		適 地	耐 寒 性	耐 暑 性	単小 袋位 包装	播 (10a 当り) 種 量
					別 当 サ イ レ ー ジ	放 牧					
トウモロコシ	ネオデントフロア290(品種SL12029)		耐倒伏性に優れる。品種の稔実性が良好で子実多収。	6	◎		◎		○	3,500本	8,000～ 9,000本
	ネオデントアシル90(品種SH1353)		すず紋病、耐倒伏性に優れる。	6	◎		◎		○	3,500本	7,000～ 8,000本
	ネオデントエスバ595(品種SL0746)		子実、TDN収量が多収。高冷地向き。	7	◎		◎		○	3,500本	8,000本
	ニューデント100(品種LG3457)		極早生、長稈多収。すず紋病、根腐病抵抗性に優れる。	7	◎		◎		○	3,500本	7,500本
	ニューデント105(品種LG2533)		早生、耐倒伏性に優れ子実多収品種。	5.8	◎		◎		○	3,500本	7,500本
	LG3490		早生、ごま葉枯病、すず紋病抵抗性に優れる。	9	◎		◎		○	3,500本	7,000～ 7,500本
	スノーデント110(品種LG30500)		長稈で茎葉ポリウムのある乾物多収品種。ごま葉枯病、すず紋病抵抗性に優れる。	5.10	◎		◎		○	3,500本	7,000～ 7,500本
	スノーデント115(品種G31,588)	NEW	早生、穂穂・茎葉ともに多収。耐倒伏性にも優れる新品種。	3.11	◎		◎		○	3,500本	6,500～ 7,000本
	スノーデント118R(品種SH5702)		早中生、耐病性に優れる子実安定多収品種。	5.12	◎		◎		○	3,500本	7,000～ 7,500本
	スノーデントSH4812(品種SH4812)		中生、子実多収の大型品種。	13	◎		◎		○	3,500本	6,000～ 6,500本
ソルガム	スノーデント125T(品種SH2821)		早生、総乾物収量多収。	3.514	◎		◎		○	3,500本	6,500～ 7,000本
	スノーデントおとほ(品種PI2008 PVP)	●	遅播き～二期作用、長稈多葉、南方さび病の抵抗性に優れる。	15	◎		◎		○	3,500本	6,500本
	スノーデント夏産(品種SH2933)		遅播き～二期作用、ワラビ萎縮症、南方さび病の抵抗性に優れる。	16	◎		◎		○	3,500本	6,500本
	短尺ソルゴー		早中生、軽トラックで運搬できるソルゴー型。青刈り利用にも適する。	24	◎		◎		○	1.0	1.0～2.0kg 2.0～3.0kg
	ハイグレソルゴー		早中生、穂高が高く、耐倒伏性に優れ、トウモロコシ混播に適する。	24	◎		◎		○	1.0	1.0～2.0kg 2.0～3.0kg
	青刈ハイブリッドソルゴー(品種SI1261)		早生、青刈、サイレージ、混播と幅広く使える安定多収品種。	25	◎	○	◎		○	1.0	1.0～2.0kg 2.0～3.0kg
	テキサグリーン		早生、初期生育が早く、耐早性、耐暑性に優れる。	25	◎		◎		○	1.0	1.0～2.0kg 2.0～3.0kg
	シュガークレイズ		中生、穂高が高く、耐倒伏性に優れ、青刈り、サイレージ利用に適する。	26	◎	○	◎		○	1.0	1.0～2.0kg 2.0～3.0kg
	ピクニックソルゴー(品種SUGAR/GO/GO-05)		晩生、穂長・穂大・茎、耐倒伏性に優れ、多収、青刈り・サイレージ利用。	26	◎		◎		○	1.0	1.0～2.0kg 2.0～3.0kg
	グリーンソルゴー(品種スーパーダン)		早生、粗大有機物の供給、残肥の吸収力に優れた緑肥用品種。	78	◎		◎		○	1.0	4.0～5.0kg
スーダングラス	つちまろ(品種ジャンボ)		極晩生、サツマイモネコブセンチュウの抑制効果が高い緑肥用ソルガム。	78	◎		◎		○	1.0	5.0kg
	ロールフィードBMR		極早生、消化性や耐病性に優れる。BMRスーピンググラス。	27	◎	◎	◎		○	1.0	8.0kg
	ハイスダグ		極早生、穂細茎、分げつ多く、再生力旺盛、乾草・ロールペールに適する。	28	◎		◎		○	1.0	6.0～8.0kg
	バイパー		極早生、初期生育が良好であるが、茎はやや太い。	28	◎		◎		○	1.0	7.0～8.0kg
	リッチスダグ(品種スプリント)		早生、耐病性・越冬性に優れたスーダングラス。	29	◎		◎		○	1.0	8.0kg
	ネオまろ(品種ニューダグ)		晩生、ゆっくり刈れて、よく乾く。	30	◎		◎		○	1.0	0.1～0.2kg 0.2～0.3kg
	ねまへらそう(品種スーパーダン2)		晩生、出穂が遅く、生育がゆるやかで刈り取り適期が長い。	30.78	◎		◎		○	1.0	0.1～0.2kg 0.2～0.3kg
	ネマレット(品種ADR300)		極早生、土壌を選ばず生育良好、根タンパクが高い。	31.78	◎		◎		○	1.0	1.0～2.0kg
	テフグラス	NEW	極早生、耐湿性に優れ、水田転換畑での作付可能、高収性に優れる。	3.34	◎		◎		○	1.0	1.0～2.0kg
	ジャーマンストレンR		極早生、発芽・初期生育良好、短期間で収穫可能。乾草調整しやすい。	35	◎		◎		○	1.0	3.0～4.0kg
羅地草	なつ乾草		晩生、初期生育早く、出穂前収穫で多収。畑草でロールペール・乾草に適する。	35	◎		◎		○	1.0	3.0～4.0kg
	カンボラ		中生、草質やわらかく、再生が良好、青刈、乾草、サイレージに適。	38	◎		◎		○	1.0	2.0～3.0kg
	カリード		晩生、カンボラに比べ、茎葉が大きく、再生力旺盛な4倍体多収品種。	38	◎		◎		○	1.0	5.0～6.0kg
	ソイルグリーン		早生、発芽・初期生育に優れた生育旺盛な多収品種。緑肥用にも利用される。	37.78	◎		◎		○	1.0	1.0～1.5kg
	ナツコマキ		極早生、短稈・穂葉品種。乾草向け。	37	◎		◎		○	1.0	1.0～1.5kg
	ナツカゼ		早生、草丈が高く、茎葉が大型の多収品種。	37	◎		◎		○	1.0	1.0～1.5kg
	バイカジ PVP	●	中生、排水性耐寒性に強い。耐暑性は弱いが耐湿性・耐病性は高く、多年生利用でも。	37	◎		◎		○	1.0	2.0～3.0kg
	うーま PVP	●	極晩生、収量性、再生性に優れ、沖積帯では永続性に優れる。	37	◎		◎		○	1.0	2.0～3.0kg
	マヤ		ほふく茎で広がる下葉草。羅地での放牧用途に適する。	—	◎	◎	◎		○	1.0	2.0～3.0kg
	サンディ		ほふく茎で広がる下葉草。羅地での放牧用途に適する。耐寒性はサビグラスよりやや優れる。	—	◎	◎	◎		○	1.0	10.0～15.0kg
ギニアグラス	ベンサコラ		密生した草地を形成し、再生力旺盛、主として放牧利用。	38	◎	◎	◎		○	1.0	4.0～5.0kg
	ナンオウ		4倍体品種。放牧時の採食性が良好。	38	◎	◎	◎		○	1.0	4.0～5.0kg
	青葉ミレット		中生、草丈が高く、多収。耐湿性に優れる。	36	◎	◎	◎		○	1.0	1.0～2.0kg 2.0～3.0kg
	シロヒエ		早生、草丈は青葉ミレットに比べやや低く、耐湿性に優れ、やせ地にも生育する。	36	◎		◎		○	1.0	3.0～4.0kg
	真壁に良く生育し、作りやすく、多収・青刈り向き。			37	◎		◎		○	1.0	3.0～4.0kg
	分げつ多く、葉も多く、青刈り飼料用に適する。			37	◎		◎		○	1.0	2.0～3.0kg
	タチユウカ(品種SI-14 PVP)	●	早生、直立型、優香よりも明確な葉含有量が更に低くカリウム含量も低い。	40.41	◎	◎	◎		○	1.0	3.0～4.0kg
	タチマサリ		早生、直立型、耐倒伏性に優れ、大型の多収品種。	42	◎		◎		○	1.0	3.0～4.0kg
	タチワセ		早生、直立型、耐倒伏性に優れ、短期多収。	43	◎	◎	◎		○	1.0	3.0～4.0kg
	タチムシャ		中生、直立型、耐倒伏性に優れ、大型の多収品種。	44	◎	◎	◎		○	1.0	3.0～4.0kg
イタリアンライグラス	マンモスティアンB(品種ビクテ)		中晩生4倍体、葉葉巨大、春まきでも出穂、高収。	45	◎	◎	◎		○	1.0	3.0～4.0kg
	エース		晩生4倍体、葉葉巨大、再生旺盛、周年利用型で多収。	45	◎	◎	◎		○	1.0	3.0～4.0kg
	ガルフ		中生、耐倒伏性に劣る。	47	◎		◎		○	1.0	3.0～4.0kg
青刈作物	シコフコエ										
	テオシント										
	シロコフコエ										
	シロコフコエ										
	シロコフコエ										
	シロコフコエ										
	シロコフコエ										
	シロコフコエ										
	シロコフコエ										
	シロコフコエ										
	シロコフコエ										

※海外持出禁止(農林水産大臣公示)
●はコート種子

◎……好適 ○……適

種類 (草種)	品 種	海外 持出禁止 ※	主な特性	掲載 ページ	利用法	適 地	耐 寒 性	耐 暑 性	単小 袋位 包装	播 (10a 当り) 種 量	
					放牧 利用 別 当 サ イ レ ー ジ						
エ ン バ ク	ウルトラハチマタ草数天(品種PVP)●	●	極早生、耐倒伏性に優れる。畑草で乾燥が早い。晩夏播き年内刈りに適する。	50.51	◎	◎	◎		○	1.0	6.0～8.0kg
	スーパーハヤチ草(品種準)		極早生、出穂早く、草丈高い。多収、晩夏播き年内サイレージに適する。	52	◎	◎	◎		○	1.0	6.0～8.0kg
	夏産風 品種登録出願中	●	極早生、耐倒伏性に優れる。草丈高い。多収、晩夏播き年内サイレージに適する。	53	◎	◎	◎		○	1.0	6.0～8.0kg
	スナイパー PVP	●	極早生、サツマイモネコブセンチュウ抑制効果が期待できる。	54.78	◎	◎	◎		○	1.0	8.0～10.0kg
	ウエスト		極早生、暖地で早播きすれば晩夏播きでも年内出穂可能な品種。	52	◎	◎	◎		○	1.0	6.0～8.0kg
	はちいぶき		極早生、根非割合が高く、トウモロコシ、早期米稲後の秋作に適する。	52	◎	◎	◎		○	1.0	6.0～8.0kg
	たちいぶき		極早生、夏播きで、サツマイモネコブセンチュウ抑制効果が期待できる。	52	◎	◎	◎		○	1.0	6.0～8.0kg
	たちあか PVP	●	極早生、耐倒伏性に優れ、冠さび病耐病性品種。	52	◎	◎	◎		○	1.0	6.0～8.0kg
	スワン		早生、主に秋播き・春播きに適する。大病で多収。	52	◎	◎	◎		○	1.0	6.0～8.0kg
	とちゆたか		直立型で耐倒伏性に優れる。主に緑肥用。	79	◎	◎	◎		○	1.0	8.0～10.0kg
アウエスドラク(エンバク用)	ニューオールマイティ		中生、直立、耐倒伏性、耐病性に優れ多収、多刈刈りに向く。	54	◎	◎	◎		○	1.0	6.0～8.0kg
	ハイオツ		早生、稲葉乾草で乾草・ロール利用に適する。カタネグサレンチュウを抑制。	54.78	◎	◎	◎		○	1.0	4.0～6.0kg
	ワセド12条		極早生、耐倒伏性、冠さび病抵抗性に優れる。夏まき年内刈りに適。	56	◎	◎	◎		○	1.0	6.0～8.0kg
	ムサシボウ		中生、野毛が無く嗜好性の良い2条オオムギ。耐倒伏性に優れ、多収。	55	◎	◎	◎		○	1.0	2.0kg (イタリア草種)
	ライコック4(品種T100)	NEW	極早生、耐倒伏性に優れ、イタリアンライグラスとの混播に適する。	56	◎	◎	◎		○	1.0	7.0～8.0kg
	春一番		春の萌芽が早く、出穂も早い極早生品種。耐倒伏性に優れる。	57	◎	◎	◎		○	1.0	6.0～8.0kg
	ライムギ		晩生、耐倒性に優れる。豪雪地帯に適する。	57	◎	◎	◎		○	1.0	8.0～10.0kg
	R-007(品種ウィーラー)		極晩生、緑肥用。カタネグサレンチュウ被害の軽減効果が高い。	78	◎	◎	◎		○	1.0	10.0～15.0kg
	ユセ		極早生、耐倒伏性、冠さび病抵抗性に優れる。1番草が多収。	59	◎	◎	◎		○	1.0	2.0～2.5kg
	チ モ シ ー	マヨイ PVP	●	早生、収量性・再生力・耐倒伏性に優れる。穂高が高い。	60	◎	◎	◎		○	1.0
アルデス(品種S8T0308 PVP)		●	● 中生の早、1.2番草ともに極多収品種。	60	◎	◎	◎		○	1.0	2.0～2.5kg
ハリス(品種S8T0310 PVP)		●	● 中生、採草・放牧共に適するオールマイティな品種。	61	◎	◎	◎		○	1.0	2.0～2.5kg
シリウス PVP		●	● 晩生、採草に適する。1番草が多収。	61	◎	◎	◎		○	1.0	2.0～2.5kg
クンブ			極早生、直立型で再生力に優れ2～3番草で多収、採草・放牧兼用。	61	◎	◎	◎		○	1.0	2.0～2.5kg
クライマックス			中生、草丈高く分げつ多い、寒冷地向き。	61	◎	◎	◎		○	1.0	2.0～2.5kg
ナツミドリ			早生、越冬後の再生良好、黒さび病抵抗性に優れ、多収。	62	◎	◎	◎		○	0.5	3.0～4.0kg
えさじまん PVP		●	● 中晩生、穂高が高く、サイレージ栽培に適する。収量性、耐病性、越冬性に優れる。	2.64	◎	◎	◎		○	0.5	3.0～4.0kg
パックス PVP		●	● 晩生、越冬性良好で各種病害抵抗性に優れる。	63	◎	◎	◎		○	0.5	3.0～4.0kg
オーチャードグラス		アキミドリⅡ		極早生、耐病性、秋の再生が良好な採草・放牧兼用型。	64	◎	◎	◎		○	0.5
	ボトマツク		早生、再生早く、比較的暑さに耐える。	62	◎	◎	◎		○	0.5	3.0～4.0kg
	はるねみどり PVP	●	● 早生、収量性、越冬性に優れる。	64	◎	◎	◎		○	0.5	3.0～4.0kg
	まきばたろう PVP	●	● 中生、病害抵抗性・永続性に優れる。採草・放牧利用に適する。	62	◎	◎	◎		○	0.5	3.0～4.0kg
	ハルジマン PVP	●	● 中晩生、春の収量性に優れる採草・放牧用品種。	64	◎	◎	◎		○	0.5	3.0～4.0kg
	トヨミドリ		極晩生、越冬性と耐病性に優れる品種。	64	◎	◎	◎		○	0.5	3.0～4.0kg
	フレンド		晩生4倍体、分げつ多く再生良好、耐暑性に優れる。	64	◎	◎	◎		○	1.0	3.0～4.0kg
	ペレニアルライグラス	NEW	● 晩生4倍体、東北以南で夏の暑さや厳しい地域での利用に適する。	64	◎	◎	◎		○	1.0	3.0～4.0kg
	リン		早生、2倍体品種。放牧利用に適。耐寒、耐暑性や劣る。	64	◎	◎	◎		○	1.0	3.0～4.0kg
	トールフェスク	テトⅡ	NEW	● 中生、耐暑性に優れ年々を通じて多収、採草・放牧いずれの用途にも適する。	65	◎	◎	◎		○	1.0
ウシエ PVP		●	● 中生、環境適応性に優れ、永続性も良好。	65	◎	◎	◎		○	1.0	3.0～4.0kg
フォーン			早生、牧草用、法面緑化利用に利用される。	65	◎	◎	◎		○	1.0	3.0～4.0kg
ハイブリッドライグラス			イタリアンライグラスとペレニアルライグラスの交配種。多収、長期利用向き。	65	◎	◎	◎		○	1.0	3.0～4.0kg
フェストロリウム	ノースファスト PVP	NEW	● ペレニアルライグラスとメドウフェスクの交配種。寒害耐・越冬性に優れる。	65	◎	◎	◎		○	1.0	3.0～4.0kg
	那系1号 PVP	●	● 越冬性、葉腐病、冠さび病抵抗性に優れる4倍体品種。	65	◎	◎	◎		○	1.0	3.0～4.0kg
メドウフェスク	コスモロバ PVP		早生、越冬性・季節生産性が優れ、放牧利用に適する。	66	◎	◎	◎		○	0.5	3.0～4.0kg
	まきばさか PVP	●	● 早生、越冬性に優れた、放牧利用向け品種。	66	◎	◎	◎		○	0.5	3.0～4.0kg
ケンタッキーブルーグラス	ラトー		早生、初期生育旺盛で収量性・越冬性、さび病抵抗性に優れている。	66	◎	◎	◎		○	0.5	5.0～6.0kg
	サンビーム		早生、2倍・4倍体を中心に利用され、牧草としても利用可能。	66	◎	◎	◎		○	1.0	5.0～6.0kg
リードカナリーグラス	ベジャ	NEW	耐倒性に優れた、水はけが悪い水田転換畑などでの多年利用に適する。	66	◎	◎	◎		○	1.0	2.0～3.0kg
	バラント		耐倒性に優れた、水はけが悪い水田転換畑などでの多年利用に適する。	66	◎	◎	◎		○	1.0	2.0～3.0kg
レッドトップ	キタ		酸性土壌、湿潤地にも適応。暑さにも耐える放牧草。	66	◎	◎	◎		○	1.0	2.0～3.0kg
	アルファルファ	●	● 早生、そばかす病抵抗性、耐倒伏性に優れた多収品種。	67	◎	◎	◎		○	0.5	2.0～3.0kg
アカクロバ	ケンランド		早生、耐暑性に優れる。	67	◎	◎	◎		○	0.5	2.0～3.0kg
	メウラ		早生、短年生。	67	◎	◎	◎		○	0.5	2.0～3.0kg
シロクロバ	アババル◎		小葉型で乾占しにくく、中晩生モチーとの混播適性に優れる。越冬性に優れる。	67	◎	◎	◎		○	0.5	2.0～3.0kg
	アラバスティン◎		● 中葉型でモチー生品種との混播適性に優れる。越冬性、永続性に優れる。	67	◎	◎	◎		○	0.5	2.0～3.0kg
クリムソンクローバ	リノメイ◎		● 越冬性に優れる大型型。オーチャードグラスとの混播適性に優れる。	67	◎	◎	◎		○	0.5	2.0～3.0kg
	フィア(保護/オーストラリア産 フィア)		● 中葉型で比較的暖地に適するシロクロバ。	67	◎	◎	◎		○	0.5	2.0～3.0kg
カブ	くれない		● 早生、イタリアンライグラスとの混播でミナリ等、に感染、根腐病などの病害発生が期待できる。	80	◎	◎	◎		○	0.5	2.0～3.0kg
	下総大黒		● 晩生種、大型肉内型で根瘤・葉部とも多収。	—	○	◎	◎		○	0.1	0.2～0.4kg